

家事や育児は2人の助け合い。イクメン夫に感謝の日々 お互いを尊重する北洞さんご夫婦（白鳥町）をインタビュー



◆《家族構成》小学5年生、小学2年生の娘さんと年長の息子さんの5人家族
きたほらよしのり
 ◆北洞良憲さん【自営（なんでも屋 きた三どう）】
きたほら りえ
 ◆北洞里恵さん【老人ホーム 栄養士】

広報郡上10月号からシリーズで掲載している「男女共同参画特集」。今回は、郡上ケーブルテレビのCM「♪きた、きた～きたさんどう♪」のフレーズでお馴染みの「きた三どう」の「北洞良憲さん・里恵さん」（白鳥町在住）のご夫婦にインタビューをしました。

問 郡上市男女共同参画推進協議会（市長公室企画課）
 ☎ 67-1831

◎お二人の馴れ初めや、今の
お仕事について教えてください。
 さい。

◆良憲さん：年がひとつ違いで同じ中学なので当時から知り合いました。それで社会人になり20代半ばで再会し、縁あって一緒になりました。中学生の時を考えると結婚するとは、ビックリですね。今の仕事は自営で「なんでも屋」を一人でやっています。特にお年寄りや一人住まいの方の困っていることを解決するのが仕事内容です。本当にいろんな依頼があって、毎日のように仕事内容が違って飽きないですよ。何より「助かった」と

◆里恵さん：家事や育児に協力的でとても助かっています。いつも子どもを連れて出掛けてくれるので、みなさんから「よく子どもをみてくれるいいお父さんだね」と言われます。でも子どもにもほとんど怒らないので、私ばかりが怒り役になっているのはどうにかして欲しいです。（笑）
 ◆良憲さん：自称イクメンなので、以前岐阜県で「イクメン写真コンテスト」があった時、里恵さんに自分と子どもが遊んでる写真を撮ってもらって白薦で応募しました。賞

か「ありがとう」と言われるのが嬉しいです。
 ◆里恵さん：夫から自営をすると言ったときは少し不安もありましたが、信頼していただきますし、反対しても言い出せしなかった人なのでお任せしました。いろんな人に仕事を依頼されておりがたいですね。郡上ケーブルテレビのCMを見たと言って近所の子どもたちからも親しまれているようです。私は3人の子育てをしながら老人ホームで栄養士の仕事をしています。

◎良憲さんは「イクメン」とお聞きしましたが、ご家庭ではいかがですか？

◆里恵さん：夫はとってもプラスに考えるからビックリします。そして家で何か困っていることをお願いすると必ずなんとかしてくれれます。これが仕事に繋がっているんでしょうね。それと自営業なので子どもも急な迎えや行事にも対応してくれるのもありがたいです。
 ◆良憲さん：料理が得意で、テレビで見たものなどで「これ食べたい」と言うとなんでも作ってくれます。家族のために美味しいものを作ってくれます。あとなんと食べばいいのかわからない生活でいるというか、安心して生活できるのは里恵さんのおかげです



◎お互いの尊敬しているところ、良いところを教えてください。

◆里恵さん：夫はとってもプラスに考えるからビックリします。そして家で何か困っていることをお願いすると必ずなんとかしてくれれます。これが仕事に繋がっているんでしょうね。それと自営業なので子どもも急な迎えや行事にも対応してくれるのもありがたいです。
 ◆良憲さん：料理が得意で、テレビで見たものなどで「これ食べたい」と言うとなんでも作ってくれます。家族のために美味しいものを作ってくれます。あとなんと食べばいいのかわからない生活でいるというか、安心して生活できるのは里恵さんのおかげです

ね。いつかテレビ番組の「人生の楽園」のようにお互いが得意なことを生かしたお店ができたらいいなと話しています。
 ◎最後に家族みんなが心地よく過ごせるよう心がけていることはありますか？

◆里恵さん：夫が仕事しやすいようにサポートしたり、子どもたちが元気で健康に育つよう食事作りに気を配っています。あと休日はなるべく家族で過ごすようにしています。
 ◆良憲さん：家族にはいつも笑顔でいてほしいので、まずは自分が率先して笑顔で過ごすようにしています。

取材を終えて

取材中、笑いが絶えず始終和やかな雰囲気でした。北洞夫妻のお人柄や笑顔が本当に素敵で、お互いが信頼している様子が伝わりました。郡上市がめざす「ともに生き生きと暮らせる社会」を実践されているご夫婦だと思いました。

